

しおがま ぐまを すぐ 救った 仙台 藩主 伊達 綱村 公



伊達綱村公

今年、仙台藩第4代藩主伊達綱村公が亡くなってから300年目にあたります。江戸時代の塩竈を救った恩人として今も語り継がれている綱村公とは、どんなお殿様だったのでしょうか？

綱村公って？

伊達綱村公は、仙台藩初代藩主伊達政宗公のひ孫にあたります。江戸で生まれ、わずか2歳で4代藩主になりました。成人してからは、防風林や運河、お寺・神社などを整備したり、日本各地からさまざまな職人を招いて産業を興したりしました。学問にも大変力を入れたお殿様で、伊達家の歴史を記録した『伊達治家記録』の編集を始めたのも綱村公です。現在も伝わるたくさんのもをを残した「仙台藩中興の名君」です。



伊達綱村肖像（東園寺蔵）

塩竈が大ピンチに！

仙台の周りは遠浅の砂浜が多く、大きな船が入ることができないため、塩竈にさまざまな商品が荷揚げされ、陸路で仙台まで運ばれていました。仙台藩では、塩竈から蒲生(今の仙台新港のあたり)まで「御舟入堀」という運河を作り、より簡単に荷物を運べるようにしました。しかし、塩竈に入港する船が急に減り、大きな港として栄えていた塩竈は、急速に衰えてしまったのです。

塩竈を救った貞享特令

仙台藩のお殿様は、鹽竈神社をととても大切にしていました。中でも綱村公は鹽竈神社を深く敬っていたため、門前町である塩竈に活気がなくなっていることを心配し、貞享2(1685)年、塩竈を救うための9か条の命令を出しました。これが「貞享特令」です。貞享特令では、仙台藩に入ってくる海産物や材木など、お米以外のほとんどの荷物を積んだ船は必ず塩竈の港に入港するように定められていました。また、毎年250両(今のお金でいうと数千万円)を藩から塩竈の人々に与えるというきまりや、さまざまな税を免除することも書かれていました。貞享特令によって塩竈は活気を取り戻し、発展することになりました。今の塩竈があるのも、綱村公が出した貞享特令のおかげです。

さらにくわしく



綱村公が13歳のころ、仙台藩の家臣(家来たち)による主導権争いが刀傷(殺人)事件にまで発展した「伊達騒動(寛文事件)」が起こりました。藩主である綱村公がまだ幼かったため、幕府による処分は免れましたが、江戸幕府に藩が取りつぶされてしまう可能性もありました。この時に仙台藩がなくなっていたら、仙台や塩竈は今とは全く違う姿になっていたかもしれません。

さらにくわしく



御舟入堀が完成したころ、塩竈ではたびたび大きな火事が起こりました。港に入る船が減った上、火事も重なって活気がなくなっていた塩竈の人々を元気づけようと、仙台藩の許可を得て若い氏子たちが始めたのが、現在も続く「帆手祭」の起源だと言われています。



塩竈を歩くと、綱村公が残したものをたくさん見つけることができるよ！



01 鹽竈神社

綱村公は神様や仏様への信仰が厚く、各地の神社やお寺をきれいに建て直したり、手厚く保護したりしました。現在皆さんが見ることができる鹽竈神社の社殿は綱村公が改築を始め、5代藩主の吉村公のときに完成したもので、国の重要文化財に指定されています。

02 表坂の大鳥居

202段の石段で有名な表坂。入り口にある大きな鳥居は、鹽竈神社を改築した記念に綱村公の名で奉納されたものです。表坂に向かって左側の柱には、綱村公の子供の頃の名前「亀千代」という文字が刻まれています。材料の石は、岩手県の一関から船で運ばれたそうです。

03 東園寺碑

綱村公が亡くなった後、塩竈の人々は旭町の東園寺に綱村公の位牌をまつり、供養を続けてきました。東園寺の境内には綱村公の功績を称える石碑があります。江戸時代に作られた石碑は火事で壊れ、一部しか残っていませんが、今から30年ほど前に市民が新しく建てた石碑を見ることができます。

04 鷹の巣浦の干拓

現在の尾島町、新富町、旭町にかけての国道45号線沿いの地域は、かつて「鷹の巣浦」と呼ばれた入江でした。第三小学校のあたりまで海だったそうです。鷹の巣浦は、綱村公が出した貞享特令によって新田開発が許され、堤防が作られて干拓が進められました。

どうして綱村公は、「青山公」「青山様」と呼ばれているの？

綱村公の戒名は…
大年寺殿故羽林中朗
将青山全提大居士

ここから「青山公」とが「青山様」と呼ばれることもあるんだ。

※戒名：亡くなったあとにお坊さんに付けてもらう名前のこと

綱村公のお墓は、仙台の大年寺山にあるんだよ。

3本の鉄塔が目印!

「大年寺」というお寺では、綱村公の命日の六月二十日に毎年法要が行われていて、塩竈から参列する人もいます。前日の十九日には、東園寺でも法要が行われているよ。

鹽竈神社博物館に行ってみよう！

鹽竈神社の境内にある博物館には、伊達家のお殿様たちが神社に奉納した宝物がたくさん展示されています。綱村公が納めた太刀や、綱村公の甲冑を間近で見ることができます。足を運んで、塩竈の歴史に触れてみてください。



国重要文化財 太刀 銘 来国光



国重要文化財 金梨地菊・竹に雀紋時絵糸巻太刀拵

年中無休/ただし展示替え等の都合により休館する場合があります。
8:30開館/閉館時刻は季節により異なります。(4~9月:17:00 12月~1月:16:00 10・11・2・3月:16:30)
入館料：一般200円 ※塩竈市内の小・中学生は無料で観覧可能(土日祝祭日の平常展のみ)

さらにくわしく知りたい人は…

綱村公の三百年遠忌(没後300年)を記念して、各地でさまざまなイベントが行われています。東北歴史博物館(多賀城市)では、10月6日(土)から特別展「伊達綱村展」が開催されます。鹽竈神社や東園寺の資料もたくさん展示される予定です。興味がある人は、おうちの人と一緒に見学に行ってみましょう。(入館料などは未定です)

